

2022
令和4年7月21日
第8号

IBARAKI Prefectural Junior College of Industrial Technology

IT短大VIEW!



1 オープンキャンパス!



体験授業（ネットワーク）に参加した高校生の様子

Open Campus 2022
申込み受付中

開催日
7月16日(土) 8月22日(月)
8月20日(土) ~
8月27日(土) 8月31日(水)

対面形式
オンライン形式

茨城県立IT短大

7月16日(土)に、オープンキャンパスが開催され、高校生と保護者約80名が参加しました。受付や体験授業をサポートした皆川拓海さん(生産管理コース:東海高卒)は「参加した高校生は、ネットワークの体験授業で、セキュリティーの大切さや、IT技術者の役割やニーズの高さを実感していたようだ」と話していました。今後のオープンキャンパスは、8月20日(土)※女性限定、27日(土)。尚、オンラインのオープンキャンパス(8月22日(月)~31日(水))も実施する予定です。

2 AI使って通行量調査



測定用のカメラをセットする学生 ↑
← 測定データをパソコンで確認する学生

本校では、AIを使った歩行者通行量調査を7月3日(日)4日(月)、10時~17時まで水戸市内(银杏坂)で実施しました。調査を担当した2年の綾戸悠騎さん(土浦工高卒)は「IT技術を活用した解析データを、街の活性化に役立てて欲しい」と話していました。この事業は水戸市との共同事業で、毎年7月の第一日曜と月曜に、水戸駅から大工町までの13箇所で、歩行者通行量を調査するものです。今後、測定したデータを検証し、AIによる分析を進めていきます。

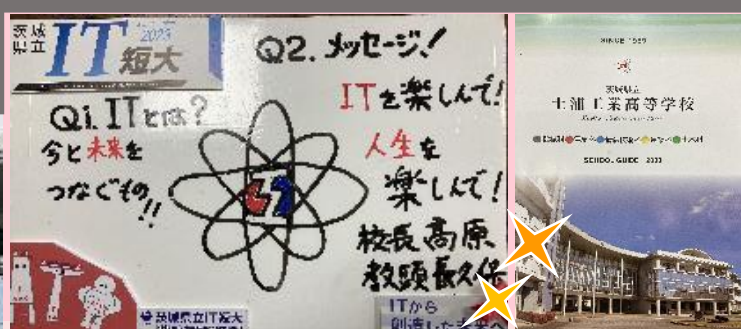
3 みんなの母校訪問!



県立土浦工業高等学校

高原康之校長

長久保順一教頭



イチョウ並木を進むと、ガラスの曲面が光り輝くモダンな本校舎となります。「自学自習」「実技実学」を旨とした伝統ある工業高校です。高原康之校長は「ITをよりよく社会に活かしてほしい」、長久保順一教頭は「ITを楽しんで!」と卒業生にメッセージをいただきました。

4 新聞を読む学生

本校では、「専門力」に加え「社会人基礎力」向上のため、新聞スクラップを実施しています。IT社会を支える人材育成の一環となるものです。

<記事> 読売新聞(2022年6月11日)
「DX推進に冷や水」
IoT機器にも影響



◇要約

●野村俊介さん(土浦工高卒)
KDDIで発生した大規模な通信障害は、携帯電話を利用する個人だけでなく、物流や金融などの企業や行政サービスにも長時間の影響があった。今後どのような対策をするのか、他の会社は大丈夫なのか見届けよう。

◇感想

●谷田部康一郎さん(石岡第一高卒)
誰もが携帯電話を持つ社会でいきなりそれが使えなくなるのはとても大変なことであるのが今回分かった。これからは、今回のような通信障害が起こった場合の対策について考えていき、もしもの場合に備えていきたい。

●作山翔梧さん(多賀高卒)
今回の記事から、通信技術の普及には潜在的なリスクがあり、対策をしても障害が発生する可能性は常に潜んでいることが分かった。そのため複数の機器を待機させたり、複数の拠点に分散するなどの対策が急務である。

●大津 光さん(水戸商高卒)
自分はKDDIのサービスを受けていないので、今回は影響が少ない。しかし、他のキャリアでも最近頻りに障害が発生しているので、発生したインシデントの分析や、障害が起きても縮退運転ができるよう冗長性が要る。

●清水雄斗さん(勝田高卒)
今回の通信障害でかなりの時間がかかったが、それによって多くの人やシステムが被害を受けた。

今回のことから、設備自体のスペックアップなどを図ったりすることで、元の力を上げつつ不具合の耐性があるといいと思った。



茨城県立産業技術短期大学校
URL <http://www.ibaraki-it.ac.jp/> E-mail: kyoumu@ibaraki-it.ac.jp

〒311-1131
茨城県水戸市下大野町6342
電話029-269-5500

